

先日、テレビを見ていたら、ある塾の講師が、子どものやる気を最も阻害しているもの、それは：「親」とのこと。

かなり衝撃的な出だしであつたので、ついつい見続けてしまつた。勉強もしないでゲームばかりしている子がいる。そんな子に「勉強しなさい」という質問に対し、講師いわく、「ゲームをしなさい」と子どもに言えばよい、おながい。減つてもゲームをしなさいと言ふ。眠くなつても、ゲームをしなさいと言ふ。そうすれば一日でゲームをやめるようになる。そして子どもたちは、どの子も本当にやる気があるので、自主性を尊重してあげれば、勉強を好きになる。だ

かから、勉強している子に「頑張って!」「もっと勉強しなさい!」は逆効果で、勉強を嫌にするだけです。」という内容だつたと思う。

言い過ぎの感はあるが、親子関係だけでなく、学校や職場、その他の人間関係においても同じことが言えるのではないかと思つた。私自身が今まで経験した職場の業務で相談を行うことがあつたが、その人はよいが、その人がそれには納得していなければ、反発するだけで、良い方向には向くことはなかつた。気持ちや考え方について、それが好意かえ方について、それが好意かは、その人の人格を認めてい

以上に相手に押し付けること

なく表現していると感心しな

がらも、今日また、携帯でゲー

コラム 知ってトクする元気になれる!! 健康アップ 大作戦

ちゃんと知って付き合う! 「トクホ・健康食品」

特定保健用食品（トクホ）の制度開始から 23 年経ち、平成 26 年 2 月時点でトクホの表示を許可されている食品は 1,000 点を超え、その種類も豊富です。トクホ以外のいわゆる健康食品も数多く販売されていますが、どちらもきちんと理解したうえで正しく付き合っていますか？

■トクホと健康食品は違います！

特定保健用食品（トクホ）は一定の健康増進効果が証明されている成分を含んだ食品で、トクホという名称を食品につける場合、国の厳格な審査基準を満たし承認されなければなりません。それに対しサプリメントや栄養補助食品などに代表されるいわゆる健康食品にはそうした審査基準は設けられていませんので、当然、健康効果に対する表示内容についても科学的な根拠がないものもあります。一般的な健康食品に病気の治療や予防、根拠

のない健康増進効果を表示することは禁止されています。

■かしこく使いましょう

健康食品はもちろん、国の承認を受けているトクホであっても、病気の治療目的には作られていないことに注意しましょう。あくまで普段の食生活をきちんとおくることを前提としたうえで、「補助的に」利用することが肝心です。決して不摂生な食事をカバーすることにはなりません。食生活を見直すきっかけのひとつとして上手に使うことが必要です。健康づくりの基本は、バランスのとれた食生活と適度な運動にあることを忘れないようにしてください。

また、体の健康度は年に 1 回の健康診査でしっかりとチェックしましょう！

ひと
先

「
ゲ
ーム

考え方
よう・人
権

人間が人間らしく生きるために、すべての人が等しく持っている権利、「人権」について考えるコラムです。



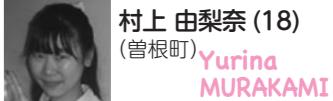
MDL で現地の先生の授業を受ける本市学生

平成 25 年度 フカキ夢・ひとづくり海外派遣研修報告 セブ島で英語を学びました！

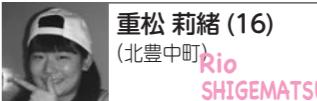
15～19歳までの男女 11 人の研修参加者が、3月 16～23 日の 8 日間、フィリピンのセブ島にある全寮制の語学学校に滞在し、英語力を磨きました。



参加者一覧
(年齢は研修参加時)
(申込受付順)



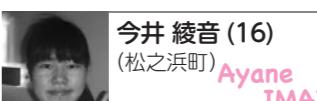
村上 由梨奈 (18)
(曾根町)
Yurina MURAKAMI



重松 莉緒 (16)
(北豊中町)
Rio SHIGEMATSU



田村 佳穂 (16)
(旭町)
Kaho TAMURA



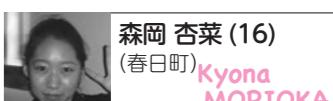
今井 綾音 (16)
(松之浜町)
Ayane IMAI



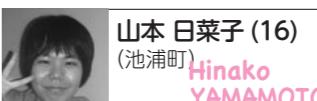
横田 佳菜 (16)
(東雲町)
Kana YOKOTA



黒野 朱理 (16)
(板原町)
Akari KURONO



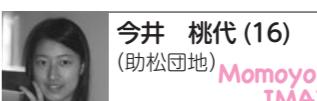
森岡 杏菜 (16)
(春日町)
Kyona MORIOKA



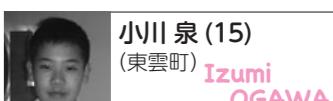
山本 日菜子 (16)
(池浦町)
Hinako YAMAMOTO



細川 美優希 (19)
(森町)
Miyuki HOSOKAWA



今井 桃代 (16)
(助松団地)
Momoyo IMAI



小川 泉 (15)
(東雲町)
Izumi OGAWA

市では、国際化時代にふさわしい広い視野と感覚を持つ人材を育成するため、「深喜人材育成基金」を活用し、青少年の海外派遣研修を行っています。

平成 25 年度の研修校 MDL は、日本や、韓国・台湾などのアジア圏の学生に、第二言語として英語を教える語学センターです。全寮制で、先生や各国の生徒たちとのコミュニケーションは 24 時間、すべて英語です。

研修のスタートは、文法やスピーチなどのレベルテスト。このレベルテストによって自分に合ったクラスに振り分けられ、マンツーマンやグループレッスンなど、授業は一日約 8 時間におよびました。授業終了後は、校内で他国からの研修生らと英語でコミュニケーションを楽しむなど、それぞれ充実した研修期間を過ごしました。

「毎日 8 時間英語を見て、聞いて、書いて、英語が身体に染みこんでいくようでした」「ただ好きだから英語を勉強していたことに対し、今は自分がしたいことのために勉強し身につけようとする姿勢に変わりました」などの感想をもらいました。

研修生による研修報告は、市ホームページで公開中です。
問合 企画調整課（市役所 4 階）

住民基本台帳の閲覧状況

平成 25 年度の住民基本台帳の閲覧は 14 件でした。問合 市民課（市役所 1 階 4 番窓口）

閲覧者	閲覧事由	閲覧年月日	閲覧に係る住民の範囲
防衛省自衛隊大阪地方協力本部 阪南地区隊岸和田地域事務所	自衛官等の募集に伴う広報	26/1/21～ 23、28	平成 8 年 4 月 2 日～平成 9 年 4 月 1 日に生まれた者（市内全域）
一般社団法人新情報センター 事務局長 平谷伸次	「消費動向調査」の対象者名簿作成のため（委託者：内閣府経済社会総合研究所）	25/5/29	二田町 1 丁目・2 丁目 単身世帯の世帯主 40 件
一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	「飲酒と生活習慣に関する調査」実施のための対象者抽出（委託者：独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）	25/6/19	東助松町 2 丁目・3 丁目 満 20 歳以上の男女 27 件
	「暮らしの安心・信頼・社会参加に関するアンケート調査」実施のための対象者抽出（委託者：学校法人 日本大学法医学部）	25/8/20	曾根町 1 丁目・2 丁目・3 丁目、寿町 満 20～79 歳 男女 100 件
株日本リサーチセンター代表 取締役社長 鈴木稻博	第 5 6 回生活意識に関するアンケート調査の対象者抽出のため（委託者：日本銀行 情報サービス局）	25/8/22	曾根町 2 丁目 満 20 歳以上の男女 15 件
NHK 大阪放送局 編成部長 阿部正敏	「日本人の意識調査」実施のため	25/9/4	松之浜町 2 丁目 明治～平成 9 年生まれ 14 件
一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	「国への帰属意識に関する国際比較調査」実施のための対象者抽出（委託者：NHK 放送文化研究所 世論調査部）	25/9/25	池浦町 1 丁目 16 歳以上の男女 12 件
	「メディアの接触と評価に関する調査（メディアについてのおたずね）」実施のための対象者抽出（委託者：一般社団法人 日本新聞協会経営業務部広告担当）	25/10/23	寿町 満 15～79 歳の男女 20 件
株日本リサーチセンター代表 取締役社長 鈴木稻博	「家計と貯蓄に関する調査」の対象者抽出のため（委託者：一般財団法人ゆうちょ財団）	25/10/29	東助松町 2 丁目 20 歳以上の男女 28 件
	「高齢期に向けた『備え』に関する意識調査」の対象者抽出のため（委託者：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官）	25/11/14	東港町、若宮町、田中町 35～64 歳の男女 27 件
一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	「消費者行政の推進に関する世論調査」の実施のための対象者抽出（委託者：内閣府大臣官房政府広報室）	25/11/26	清水町、河原町 満 20 歳以上の日本人男女 16 件
株日本リサーチセンター代表 取締役社長 鈴木稻博	「第 2 回日本人の就業実態に関する総合調査」の対象者抽出のため（委託者：独立行政法人労働政策研究・研修機構）	25/12/3	助松団地 2 番・3 番 20～65 歳の男女 34 件
株ビデオリサーチ 代表取締役社長 秋山創一	日本たばこ産業株式会社が実施する 2014 年「全国たばこ喫煙者率調査」の対象者抽出のため（委託者：日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 M&S 戰略部）	26/1/16	北豊中町 2 丁目 大正 13 年 5 月 1 日～平成 6 年 4 月 30 日生まれの男女 20 件
株日本リサーチセンター代表 取締役社長 鈴木稻博	「家計の金融行動に関する世論調査」の対象者抽出のため（委託者：金融広報中央委員会（日本銀行情報サービス局内））	26/3/27	要池住宅 満 20 歳以上の男女 平成 6 年 5 月 31 日生まれまで 22 件



防犯意識の向上を呼びかけ

4月26日、市民会館で泉大津安全大会が開催され、約140人の市防犯委員が出席し、府警生活安全指導班による防犯教室が行われ、防犯意識を高めました。

また、22日には市役所玄関前で市防犯委員が泉大津警察署および市とともに、ひったくり防止カバーの無料取り付けを行い、23日には泉大津駅で、泉大津警察署、防犯協議会、防犯委員、市が参加してひったくり撲滅街頭キャンペーンを実施し、防犯対策の大切さを伝えました。



夫婦の勇気ある行動を称え表彰

4月16日、市消防本部では、3月1日午後7時ごろ、池園町で発生したマンション火災において早期発見・通報・消火・避難誘導を行った夫婦に感謝状と記念品を贈りました。

火災発生時、夕食中であった村田純一・由香梨ご夫婦は隣のベランダから煙が出ているのを発見し通報、夫婦の連携行動により住人を避難誘導し初期消火を行い、火災の被害を最小限に止めました。この勇気ある行動を称え表彰を行ったものです。



地域産業を学ぶきっかけにと

4月7日、澤田㈱から市内8小学校の新1年生全員に入学祝品として新開発の糸を使用し泉大津で製作した「スクールベスト」が贈呈されました。「泉大津製ベストを着用してもらうことで、市が誇る特産品の良さを体感してもらい、このベストをきっかけとして、自分たちの住む泉大津市に誇りと愛着をもち、地域産業について学ぶきっかけにして欲しい」との思いで贈られました。市は、地域産業と地域愛の醸成に寄与したとして澤田㈱に感謝状を贈呈しました。



子どもたちが元気になるよう活用

4月9日、いづみそれいゆライオンズクラブから、教育支援センター適応指導教室「スマイルステーション」に、大型液晶テレビとDVDプレイヤー式を寄贈していただきました。

スマイルステーションは、さまざまな理由により学校に登校できない児童・生徒が学校復帰をめざして、補充学習やさまざまな活動を行いながら、元気を取り戻す場所です。今回の寄贈品は、貴重な視聴覚機器として、子どもたちが元気になるように活用させていただきます。



差別のない、明るい街に

市では、5月2日、人権の大切さを理解してもらおうと、泉大津駅など市内3か所で人権街頭啓発を行いました。

これは、5月1日から7日の「憲法週間」にちなみ行ったもので、当日は市長をはじめ、人権擁護委員、人権啓発推進協議会の役員などが参加し、通勤・通学する市民に傷テープを配布し人権の大切さを訴えました。

まちの話題

Izumiotsu Town Topics

泉大津で起こったさまざまなできごとやイベントを、写真とともにお届けします。



みんなが実験に参加しました

「泉大津市文化フォーラム」は、平成26年度も年間を通して、6回の開催を予定しています。

5月11日には、第1回として「おもしろサイエンスショー」を開催しました。ショーでは、ブームラン実験や巨大空気砲実験など子どもから大人まで楽しめる実験が目白押し。静電気実験や風船まきまき実験では、会場のみんなが参加することでき、参加者は楽しい実験を体験しました。



看護の心が社会に根づけばと

5月9日、市立病院では、ナイチンゲールの誕生日の5月12日に制定された看護の日にちなみイベントを開催しました。当日、会場となつたいづみおおつCITYアトリウムは、血管年齢測定・体脂肪測定、医療・お薬相談などを無料で行い、多くの参加者でにぎわいました。

また、同時に、市民から募集していた看護川柳の優秀

作品3点が紹介され、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

受賞作品 ▷おづ賞「産声が 合図未来の 扉開き」(坂本克代さん) ▷さつき賞「未来こそ 誓いをたてる 夕暮れどき」(渡辺和子さん) ▷ナイチンゲール賞「声をかけ 寄り添う心 未来まで」(岡本ツヤ子さん)